

市場出荷産地向けのイチゴ新品種「べにたま」について

1 はじめに

埼玉県のいちご栽培は大消費地の中で行われています。いちごは鮮度が重視されるため、県内量販店や市場からは、生産と消費の距離が近い県内産いちごの供給を望む声が多く聞かれていました。一方、市場出荷を行っている生産者からは、消費者に喜んでもらえるような味が良いものや、収量性が高く収益向上につながるなどの特徴を持った埼玉県オリジナル品種の育成が求められていました。

そこで、2012年から市場出荷に対応可能な特性を持つ品種の開発に取り組み始めました。2020年までに食味が良く多収で、輸送に伴う傷みも少ない有望系統の育成が完了しました。

「べにたま」と命名して2021年5月に品種登録出願し、同年9月には出願公表されています。現在、県内2か所で生産が開始され、11月から県内量販店での販売が行われています。

2 べにたまの特徴

「べにたま」の果実は円錐形で形が乱れにくく、果皮は橙赤色、果肉は白色です（写真1、2）。「とちおとめ」と比べて糖度が高く、完熟した果実は酸度も控えめで、甘さが際立つ良食味品種です（図1）。

草姿は立性で草勢が強く、低温伸長性が高いため冬期の草勢を維持しやすいことが大きな長所です。

開花は「とちおとめ」と同等もしくはやや早く、収穫開始時期はやや早いです（表1）。また、連続出蕾性が高く収穫期間を通して安定して収穫が可能であるため「とちおとめ」と比べて収量が多いのが特徴です（表2）。



写真1 「べにたま」果実



写真2 「べにたま」果実および断面

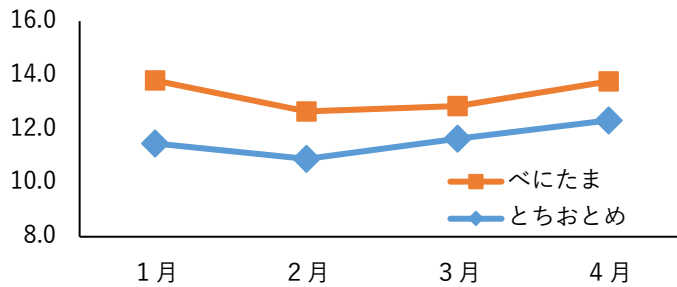


図1 糖度の推移 (Brix.)

両品種とも週1度、3~10果を供試した
各月の値は月内の平均値を表す

表1 開花日、収穫開始日の比較

年作	2017		2018		2019		2020	
	開花日	収穫開始日	開花日	収穫開始日	開花日	収穫開始日	開花日	収穫開始日
ベにたま	10/30	12/9	11/2	12/4	10/31	12/7	11/6	12/8
とちおとめ	11/2	12/27	11/2	12/13	11/4	12/12	11/16	12/28

6株3反復で実施し、開花日、収穫開始日ともに平均値を表す
年作は本ぼ定植を行った年度を表す

表2 総収量の比較

年作	2017	2018	2019	2020
ベにたま	3.7 (169)	3.9 (118)	4.1 (138)	4.5 (198)
とちおとめ	2.2 (100)	3.3 (100)	3.0 (100)	2.3 (100)

6株3反復で実施、6g以上の正常果を対象とし、収穫開始から4月末までの収量 (t/10a)
収量は7000株/10aで計算を行った
()内はとちおとめの収量を100とした比
年作は本ぼ定植を行った年度を表す

3 今後の取り組み

今後さらなる普及拡大を図るため、「ベにたま」の特徴を生かした栽培技術の開発を進めてまいります。

【問い合わせ先】

埼玉県農業技術研究センター野菜育種担当
電話：048-536-3090 FAX：048-536-0315